

統計調査の民間開放・市場化テストに関する研究会（第7回）議事概要

1 日時 平成18年9月26日（火）16時00分から17時30分

2 場所 総務省統計局 6階特別会議室

3 出席者

構 成 員：竹内啓座長、大橋豊彦委員、小川直宏委員、土屋隆裕委員、新村保子委員、舟岡史雄委員

総 務 省：衛藤英達統計局長、高橋正樹統計調査部長、田口和也総務課長、飯島信也調査企画課長

4 議題

- (1) 市場化テスト・民間開放の計画策定に向けた検討について
- (2) 科学技術研究調査に関する意識調査の結果について
- (3) 今後検討が必要な事項、今後のスケジュールについて
- (4) その他

5 配布資料

- (1) 科学技術研究調査に関する意識調査の結果について（中間報告）
- (2) 今後検討が必要な事項について（現時点で想定されるもの）
- (3) 今後の研究会スケジュール

参考

- (1) 規制改革・民間開放推進3か年計画(再改定)(抄)(平成18年3月31日閣議決定)
- (2) 公共サービス改革基本方針(抄)(平成18年9月5日閣議決定)
- (3) 官民競争入札等監理委員会統計部会について
- (4) 官民競争入札実施要項又は民間競争入札実施要項に関する指針（平成18年9月5日官民競争入札等監理委員会決定）

6 議事の概要

- (1) 事務局から、計画案についての説明が行われ、その後、意見交換が行われた。本計画案については、当研究会としてはその内容を了承することとなった。
- (2) 事務局から、科学技術研究調査の調査対象に対する意識調査について、資料1に基づき説明があった。

主な質問、意見等は以下のとおり。

今後、クロス分析など、より詳細な分析が必要ではないか。

- (3) 事務局から、今後のスケジュール及び今後の検討課題、主な論点について、資料2及び資料3に基づき説明が行われ、その後、意見交換が行われた。

主な質問、意見等は以下のとおり。

民間委託については競争が重要であるが、入札参加業者が1社の場合、民間の競争による効果が得られないのではないかと懸念される。

民間競争入札の際に入札参加業者が現れなかったときなどの処置について考えておく必要があるだろう。

地方公共団体が民間委託を実施する場合に参考できるようなガイドラインもしくはモデルなどを作成しておいた方がよいのではないかと懸念される。

統計調査の民間委託は前例がないので、民間開放の実施状況を踏まえ、随時、改善や見直しを図っていくようなことも必要である。

(4) 次回は平成18年10月30日(月)10時00分から開催予定。

<文責：総務省統計局（速報のため、今後、修正の可能性あり）>
以上